

材木屋とエコ 環境 省エネ(第67回)

大発見！ 南鳥島の巨大資源

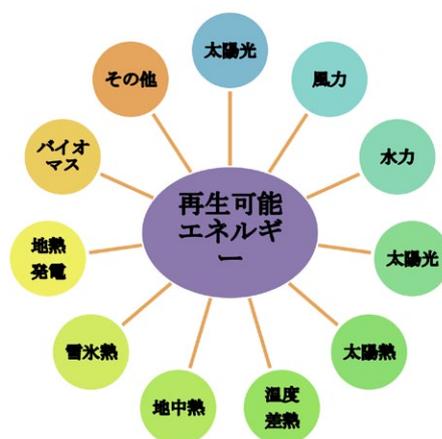
(株)コバリン 奥澤 康文

『別冊宝島』の中に、興味を引く記事が出ていた。毎日の生活や仕事で疲れた時には、「薬」になる。日本は、既に潜在的な資源大国と言える。実用化は、30年、50年先になるかもしれないが、しばし、目先の現実を忘れ夢や希望にワクワクする楽しい時だ。日本のエネルギー自給率が6%で、将来へ大いに期待がかかる。今や普通になった米国のシェール革命も30年前には、話題にもなった事がない。期待の夢の資源も意外に早く実用化するかもしれない。

しかし、海底の為、技術的、コスト的問題があるが、資源の乏しい日本には朗報で、約300兆円？ビジネスになるというから途轍もなく遠大な事業だ。日本の国土面積が約38万平方キロ(世界で62位)であるが、EEZ(排他的経済水域)の面積は、約405万平方キロで世界第6位。日本の陸地には資源が少ないが、海洋まで拡大するとスゴイことになっている。

南鳥島は、東京から南東約1,800キロに位置し、面積1.51平方キロの小さな島だが、将来の日本の経済や国益にとって大きな意味を持つ。EEZ内では、天然資源の探査や開発、保存、管理の為の主権的権利、海洋の科学的調査に関する管轄権等が認められている。これによって日本は、レアアース泥やマンガン団塊、海底熱水鉱床、メタンハイドレートと言った有望な海洋資源を、他国に干渉されることなく自由に開発できる。4月11日の全国紙に、国産技術で海底資源開発推進の記事が載っていた。

【再生エネルギー】東日本大震災(2011年3月)前には、原子力が約20%あったが、今では、ゼロに近いのではないだろうか。海洋での資源開発と並行して進めることで、日本のエネルギー事情は大きく変わるはずだと思う。さて、最近、テレビ等で日本人や日本の国の良さ、素晴らしさを盛んに称賛している。不安だから安心したい面もあると思う。資源のない国だった日本は、今後、大きく変わる。日本の近海に眠る豊かな資源と、その開発に必死に取り組む勤勉な人々が、良い方向へ変えてくれるだろう。先週



のテレビで、キッシンジャー氏(93才、元米国国務長官)が日本への助言として、「be confident」(=自信をもて!)と述べた。含蓄ある言葉だが素直に解釈しようと思った。

【季節を語る植物たち】春本番となり、新緑の息吹・生命力・躍動感を感じる時節です。



木材を前面に出して店を改装。最近、近隣でもこうした装飾が少しずつ増えています。お客さんも外を見ながら食事ができ気持ちが安らぐのですね。Good!



大宮駅東口の大規模商業施設のイメージ図。約500億円のプロジェクトで、2020年の完成予定。こうした施設内にも、木材の積極的な利用がされればいいですね。



地下鉄銀座線内の新車両。プラスチックだが、木目調のデザインで、何となく落ち着いた気分になります。初めてみた時驚きました。土曜日の早朝、人気のない瞬間です。



今年も事務所内の片隅にある胡蝶蘭が元気に咲きました。数鉢ありますが、一年間世話をして良かったと思う瞬間です。きれいな白い花に不思議と癒されます。



大宮氷川参道。桜も葉桜になりました。これから様々な木々の新緑がきれいになります。冬も通り過ぎ、本格的な春になるのを実感するのもこの頃です。



大宮氷川参道沿いにあるケヤキの大木。数百年の歳月で根の中が朽ち果てた為、人や動物が出入りしないように竹の柵が設けられた。大木の枝や樹冠の新緑が美しい。



冬の間に、町内会のシニアボランティアの方々が丹精込めて手入れ、準備してくれた結果です。シニアの方も積極的に地域活動に参加しています。私は何をしようかな？



花はきれいです、大きな蜂が飛び回っていました。注意しなくてははいけませんね。甘い芳香に惹きつけられて集まるのは人だけではないのですね。



私の子供二人が卒業した中学校の校庭の桜も、既に、葉桜になっていました。散った花、残った花。そして、新緑の葉のコントラストが何とも言えない爽やかさです。



きれいな青空に、葉桜の枝が伸びています。力強い生命力を感じました。今年も好きな桜を愛でることができ、生きる力が湧いてきました。

さて、先日、事務所内で書類整理中に、偶然、句集『再生の鋏』（小川隻枝 著）を手にした。私の生まれる前の時代を詠んだ、昭和13～18年迄の俳句だ。当時の世情を知る上では貴重なものだ。初めの一首、「義手つけて再生の鋏に秋晴るる」（昭和13年：相模原第三陸軍病院にて、慰問俳句大会にて）昭和19年以降は、紙不足の為句集が廃刊となったと言う。

熊本地震から早や1年、そして南関東地震が囁かれる昨今、今年も例年通りに桜前線が北上中で、春の新緑がきれいな時期となり気持ちは晴れ晴れしている。しかし、世界各地での政治・軍事情勢が緊迫化、不安定化している。何もなければいいのだが、不安が拡大している。

2017年4月16日（日） 記